

2018年1月19日(金)

野田聖子総務大臣が フィリピン・マニラ近郊の当社グループ会社の トレーニングセンターをご視察

～日本品質の高度な技術を習得するための現地技術者育成施設～

株式会社協和エクシオ(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典)では、1月11日、2017年5月に開所したフィリピンの現地法人で当社の連結子会社MG EXEO NETWORK, Inc. (代表取締役社長：松田栄一、以下：MG エクシオ)のマニラ近郊にあるトレーニングセンターを、総務省の野田聖子総務大臣をはじめ総務省、現地日本大使館の関係者16名が訪問し、工事に従事する現地技術者のスキル向上を目的とした訓練の様子を視察されました。

MG エクシオは、1991年5月に当社グループの現地(フィリピン)合弁会社として設立し、その後、1994年に同国最大の通信会社PLDT Inc.の指定業者となるなど、フィリピン国内で通信建設業を展開して26年目になります。

今回視察いただいたトレーニングセンターは、フィリピン人技術者のスキル向上を図り、フィリピン国内に安心・安全かつ品質の高い通信インフラを提供することを目的に昨年5月に開所しました。マニラ近郊のパラニャーケ市・サンバレー地区に位置し、新規採用技術者を対象にした基礎的なオペレーションの習得から、実務経験者を対象にした高度なメンテナンス技術の習得、さらには安全知識、作業モラルに関する教育など、協和エクシオグループが日本で培ってきた高度な技術やノウハウをもとに、通信工事の現場に必要なあらゆる知識と技術を習得するプログラムを実践しています。

視察当日は、当社代表取締役社長の小園も現地で野田総務大臣および一行のご訪問を歓迎するとともに、MG エクシオおよび本トレーニングセンターの概要についてご説明した後、室内での端末・回線設置訓練、光ファイバー接続訓練、屋外での通信用模擬電柱を利用した光回線敷設と安全訓練など、女性社員も参加した現地社員の訓練の様子を視察いただきました。

当社とフィリピンの関係においては、昨年の3月に総務省とフィリピン情報通信技術省との協力覚書への署名を行う一環として来日されたロドルフォ・サラリマ前情報通信技術大臣をはじめとする視察団に、当社の光アクセス網をはじめとする情報通信ネットワーク構築工事の最前線の拠点の1つである「府中総合技術センター」(東京都府中市)を視察いただくなど、積極的に交流を図ってまいりました。

今後もフィリピン国内の情報通信ネットワーク構築および技術者の育成を図るとともに、東南アジア各国に、技術者派遣などを通じて安心・安全かつ品質の高い通信インフラを提供してまいります。



写真左から、MG エクシオ代表取締役会長：マイケル・タントコ、野田総務大臣、
当社代表取締役社長：小園文典、MG エクシオ代表取締役社長：松田栄一



写真は、女性社員の訓練の様子を見学する野田総務大臣
(左は当社代表取締役社長：小園文典)

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室
電話：03 - 5778 - 1075 (直) FAX：03-5778-1228
担当：望月 政広